

## Ⅲ 教育目標

### 1 教育目標

- (1) 知性を高め、徳性を磨き、情操を豊かにし、不屈の精神と健全な身体をつくる。
- (2) 理想を求め、郷土を愛し、輝かしい未来と伝統を築くために、自らの可能性を信じ、積極的、創造的に学習する態度を養う。
- (3) 国際化・情報化に対応した幅広い教養と見識を身につけさせる。

### 2 教育方針

教育目標を達成するため、校訓「じりつ」の目標である「自律」と「自立」の精神を理念とし、教師と生徒及び父母との連携を保ち、文武両道を実践する「規律」ある校風づくりに努める。

### 3 めざす生徒像

- (1) 高い志をもち、不屈の魂で粘り強く努力する生徒
- (2) 部活動も勉強も全力で挑戦する文武両道の生徒
- (3) 当たり前前の方が当たり前前のできる良識ある生徒

### 4 三学科の目標

#### (1) 普通科

- ① 基礎的・基本的事項を修得させ、自ら学ぶ力を育て、専門領域への興味・関心を喚起する。
- ② 特進クラスの導入により、生徒個々の適性を把握し、それに沿った進路の実現を促進する。
- ③ 習熟度別授業等の実施により、生徒の多様化に対応する。

#### (2) 国際人文科

- ① 多様な国際交流の体験を通して、国際感覚を豊かにし、進んで国際社会の進展に寄与する有能な人材を育成する。
- ② 異文化に対する理解を深め、外国語のコミュニケーション能力の育成を図る。
- ③ 生徒の適性・能力の伸長を図り、進路指導を充実・強化する。

#### (3) 体育科

- ① 体育の専門科目を探究し、より高度な運動技能を修得するとともに、将来、体育・スポーツ界で活躍する指導者の育成を図る。
- ② 充実した体育・スポーツ活動を通して、各自の適性・能力の伸長を図り、生涯スポーツに親しむ基礎的な知識・技能・態度を育てる。

## 本校の追求する文武両道

- 「文」の目的は知を高めることにあり「武」の目的は精神と肉体を鍛えることにある。
- 武により文は支えられ、文により武は高められる。両道とは一体を意味する。
- 文と武を一体として育成することにより、人格が磨かれ、高い志が生まれる。
- 本校の文武両道は「文武一体」の実現に向けて、全ての生徒・教職員と保護者によって追求されるものである。その原点は保護者、教職員の師弟同行、率先垂範である。

### 5 経営目標

- (1) 文武両道の進学校として、基本的生活習慣の確立を中核に据えた学校づくりを目指す。
- (2) 「高い心」を育み、主体的に文武両道を実践することのできる自立した生徒を育成する。
- (3) 凡事を徹底するとともに、社会を構成する一員としての自覚を持ち、与えられた有権者としての

権利を行使できる良識ある自律した生徒を育成する。

## 6 経営方針

- (1) 校訓「じりつ」の精神の下、高い志をもち、主体的に文武両道を実践することのできる生徒を育成する。
- (2) 全職員が率先垂範、師弟同行による教育目標の実現を目指す教育活動を展開し、「生きる力」の育成とキャリア教育の充実を図る。
- (3) 創立 30 周年事業の成功に向け、PTA・同窓会・期成会、地域との連携を密にし、信頼に応える学校づくりに努める。

## 7 重点努力事項

- (1) 生徒の学力向上を目指す。
  - ① 全ての教科において「学ぶ意義」を実感させると共に「学ぶ意欲」を向上させる。
  - ② 早朝講座、放課後講座等の充実を図り、「高い志」の育成とキャリア教育に繋げる。
  - ③ 部活動と学習指導のけじめのある連動により、授業及び練習の集中力を養う。
  - ④ 自主的学習（予習・授業・復習サイクル）の定着
- (2) 希望進路の実現
  - ① 全校をあげて進路面における意志型生徒の育成をはかる。
  - ② 模試・希望講座・小論文指導等の充実を図るとともに、早期進路決定を促進する。
  - ③ 自学自習の場と機会を与え、教師が常に寄り添う支援体制を構築する。
  - ④ 国公立・難関私大等に一般入試でも対応できるようにセンター試験対策を計画的に行い、センター試験受験を定着させる。
  - ⑤ 国公立大の推薦入試情報を提供し、受験に挑戦させる。
  - ⑥ 「受験は団体戦」「チーム那覇西」体制の構築
- (3) 凡事徹底の推進
  - ① 態度教育（挨拶、返事、履き物を揃える、立腰、食事のマナー等）を推進する。
  - ② 男生徒、女生徒共に品位ある身だしなみを徹底する。
  - ③ 登下校時間、授業時間、部活動等の時間厳守を徹底し、秩序ある校風をつくる。
  - ④ 教師の率先垂範の下、清掃活動並びに教室の整理整頓を徹底させ、快適な学習環境にする。
  - ⑤ 自他への思いやりのある心を育む。
- (4) 授業力の向上
  - ① 言語活動の充実を図り、生徒の発言、生徒同士の教え合いも大事にする。
  - ② 各教科の到達目標を明確化し、全員に定着すべき基礎基本の確立と指導を徹底する。
  - ③ 積極的な授業公開と校内研修を実施し、授業力の向上を図る。
  - ④ 授業の規律を確立するとともに、アクティブラーニング等工夫改善を凝らした授業展開に努める。
  - ⑤ 家庭学習、自主学習を習慣化させる授業内容の工夫
  - ⑥ 生徒の進路実現に繋がる授業展開
- (5) 学校の活性化
  - ① 部活動加入率の向上と活性化を図り、県高校総体男女完全優勝による総合優勝を目指す。
  - ② 3 学科の相互作用を推進し各科の特色と活躍を内外に発信する。
  - ③ 資格取得を強化し国際人文科は卒業までに全員英検準 2 級を取得させ、体育科は漢検 3 級を取得させる。普通科においてはそれぞれの検定において 2 級取得を目指す。
  - ④ 自治活動ができる生徒会を目指し、帰属意識を高める。
  - ⑤ 学校緑化につとめるとともに図書室の充実をはかり情操教育にも力を注ぐ。
  - ⑥ 学年体制（縦横のほうれんそう）の強化
  - ⑦ 学校行事の充実
- (6) 信頼される学校づくり
  - ① 一人ひとりを大切にする教育相談体制の充実と心身共に健全なる生徒の育成。
  - ② PTA 組織の活性化並びに連携を図るとともに進路実現支援組織としての機能強化を図る。
  - ③ 学校評議員、同窓会、関係団体、地域社会等の意見、要望等を積極的に活用する。
  - ④ 外部人材を積極的に活用した講演会、研修会、講座等を開催する。
  - ⑤ 人権意識や危機管理意識を高め、安全で安心な教育環境を整備する。